

科目分類	専門職の教育			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
13017	4	前期	選択	2	30
授業科目名 (英文)	臨床検査学 (Clinical Laboratory Medicine)				
担当教員名	中島 一敏				
授業の概要及び到達目標					
<p>○ 概要：病気の診断は、臨床症状や各種の検査所見を総合して行われる。多くの臨床検査には、健常人の多くが含まれる「基準値」が示されており、個人の検査値と基準値を比較し、病気の発見、診断の補助および予後や治療成績の判定を行っているが、正しい解釈を行うことが必要である。</p> <p>○ 到達目標：臨床検査の意義を理解し、「基準値」の意義、検査結果を正しく解釈できる。主要な疾患における臨床検査の活用例を示すことができる。</p>					
準備学習等					
<p>全ての講義内容について、毎回プリント資料を作成し配布する。それらのプリントをもとに学生が自習、復習することを義務付ける。</p> <p>第1回授業 診療における臨床検査の意義について予習すること</p> <p>第2回授業 配布したプリントをもとにシラバスに記載してある講義内容について予習すること</p> <p>第3回授業 以下、同様にプリントを熟読し、予習、復習を行うこと</p>					
成績評価の方法	期末試験：100%				
テキスト	とくになし				
参考図書	早わかり検査値ノート、岡田 淳 編著 最新臨床検査学総論 奈良信雄ら編 医歯薬出版				
備考	授業終了後、教室で質問を受け付けます。 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。				

## 授 業 計 画

- 第 1 回 診療における臨床検査の意義（総論）
- 第 2 回 適正な検体採取とその取り扱い、基準値、基準範囲の考え方
- 第 3 回 精度 precision と妥当性 validity, 精度管理 Quality control
- 第 4 回 総論まとめ、グループワーク
- 第 5 回 尿検査と疾患（腎疾患、全身疾患）
- 第 6 回 血液・凝固線溶検査と疾患（貧血、白血病、凝固異常症）
- 第 7 回 生化学検査全般：酵素、電解質・金属、血液ガス、
- 第 8 回 消化器疾患の検査：便鮮血など
- 第 9 回 肝・胆嚢。膵機能検査と疾患
- 第 10 回 内分泌の検査
- 第 11 回 糖尿病の検査
- 第 12 回 感染症の検査
- 第 13 回 感染症の現状と危機管理
- 第 14 回 免疫学的検査（各種の免疫異常症、アレルギー、免疫不全）
- 第 15 回 臨床検査レビュー